

2025年度 第3四半期 クリモトグループ決算説明資料

Challenge to change.

KURIMOTO

- 2025年度 第3四半期実績
- 2025年度 通期業績予想
- 参考資料

2025年度 第3四半期実績

2025年度 第3四半期業績概要

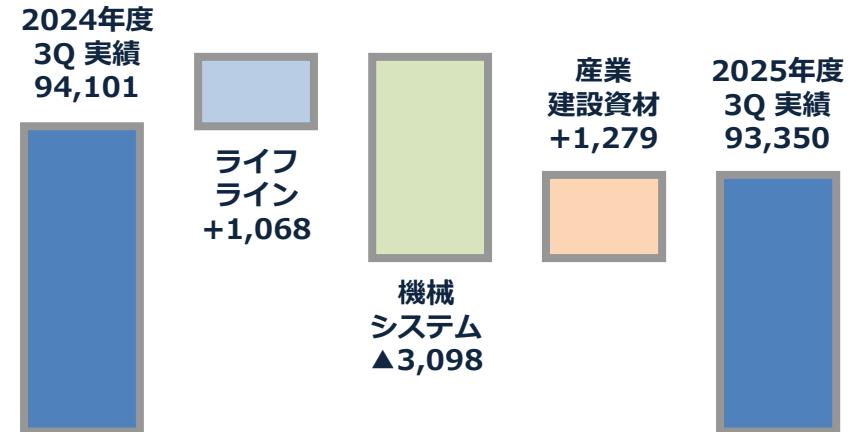
KURIMOTO

<連結>

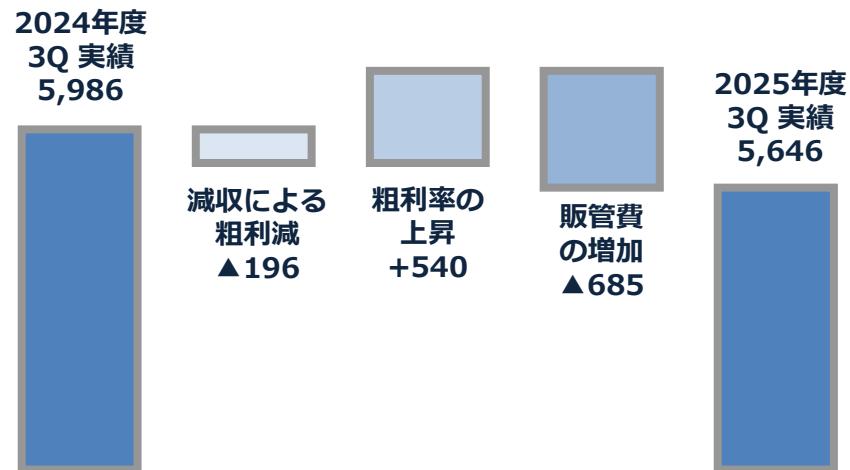
(単位 : 百万円)

	2024年度 3Q 実績 (A)		2025年度 3Q 実績 (B)		前年比 (B-A)	2025年度期末予想 (2025.5.14公表)	
売上高	94,101	-	93,350	-	▲751	125,000	-
営業利益/率	5,986	6.3%	5,646	6.0%	▲340	7,500	6.0%
経常利益/率	6,211	6.6%	5,644	6.0%	▲566	7,400	5.9%
四半期純利益/率	5,162	5.4%	5,558	5.9%	396	7,000	5.6%

売上高



営業利益

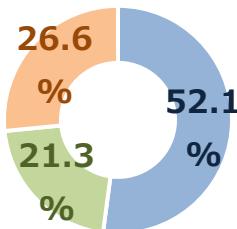


セグメント別業績

KURIMOTO

		2024年度 3Q 実績 (A)	2025年度 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	(単位：百万円) 2025年度 通期予想
ライフライン	売上高	47,574	48,642	1,068	63,000
	営業利益	3,451	3,513	62	4,300
	(率)	(7.2%)	(7.2%)	(- pts)	(6.8%)
機械システム	売上高	23,011	19,912	▲3,098	28,000
	営業利益	1,724	904	▲820	1,500
	(率)	(7.4%)	(4.5%)	(▲2.9pts)	(5.4%)
産業建設資材	売上高	23,516	24,795	1,279	34,000
	営業利益	962	1,368	406	2,200
	(率)	(4.0%)	(5.5%)	(1.5pts)	(6.5%)

売上高割合



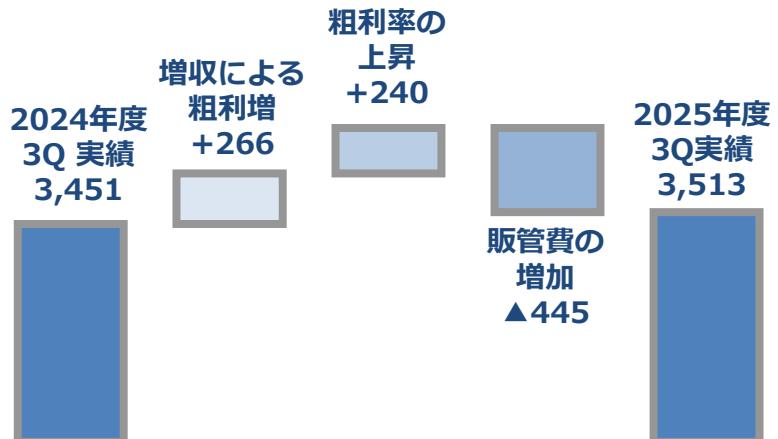
※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2024年度 3Q 実績 (A)	2025年度 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2025年度 通期予想
売上高	47,574	48,642	1,068	63,000
営業利益	3,451	3,513	62	4,300
(率) (%)	(7.2%)	(7.2%)	(- pts)	(6.8%)

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

バルブシステム部門において前年同期に計上された大型案件の反動減があったものの、パイプシステム部門において水道用ダクタイル鉄管の出荷が堅調に推移したことなどにより1,068百万円の増収

営業利益

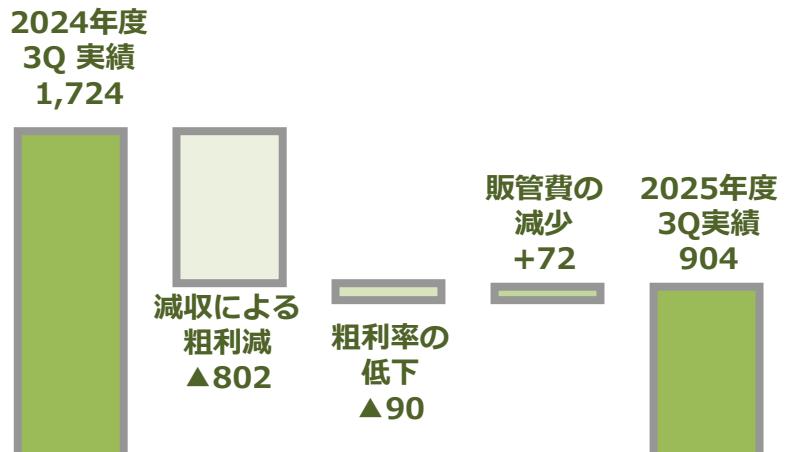
販管費が増加するも增收や利益率の改善により62百万円の増益

機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2024年度 3Q 実績 (A)	2025年度 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2025年度 通期予想
売上高	23,011	19,912	▲3,098	28,000
営業利益	1,724	904	▲820	1,500
(率)	(7.4%)	(4.5%)	(▲2.9pts)	(5.4%)

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

素形材部門において破碎機本体が順調に推移するも、機械部門において前年度の受注減少の影響により▲3,098百万円の減収

営業利益

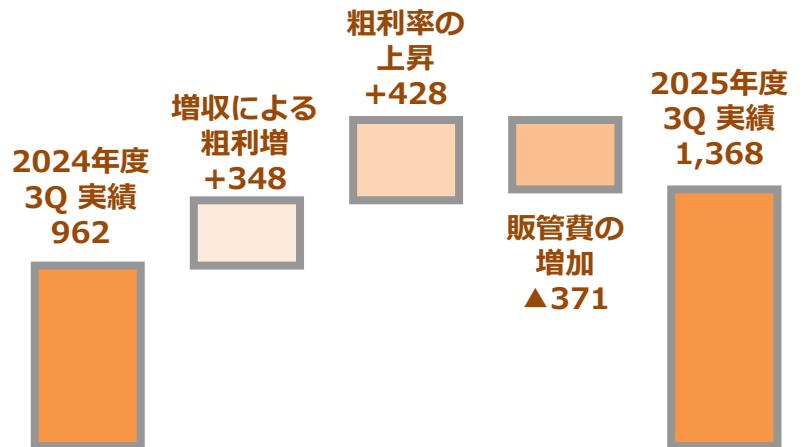
販管費の改善があったものの、減収の影響が大きく▲820百万円の減益

産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2024年度 3Q 実績 (A)	2025年度 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2025年度 通期予想
売上高	23,516	24,795	1,279	34,000
営業利益	962	1,368	406	2,200
(率)	(4.0%)	(5.5%)	(1.5pts)	(6.5%)

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

建材部門において消音関連の増加に加え、化成品部門において電力関係や小水力発電向け導水管が順調に出荷したこと、グループ会社の増収も寄与し1,279百万円の増収

営業利益

増収に加え、前年同期に発生したグループ会社での追加工事費用の先行計上はなく406百万円の増益

2025年度 通期業績予想

2025年度 通期業績予想



<連結>

(単位：百万円)

	2024年度 通期実績 (A)		2025年度 通期予想 (B)		前年比 (B-A)	中期経営計画 公表値		計画比 (B-C)
売上高	126,669	–	125,000	–	▲1,669	125,000	–	変更なし
営業利益/率	7,930	6.3%	7,500	6.0%	▲430	7,500	6.0%	変更なし
経常利益/率	8,477	6.7%	7,400	5.9%	▲1,077	–	–	–
当期純利益/率	6,905	5.5%	7,000	5.6%	95	–	–	–
ROE	8.2%	–	7.0%以上	–	–	7.0%以上	–	–

ライフライン事業など国内公共事業関連の官需分野では前年並みの需要が見込まれるも、機械システム事業などの民需分野において案件の発注見送りや延期の影響を受けることから減収減益を見込む。一方で、政策保有株式の縮減に伴う特別利益の計上により当期利益は前年並みを確保できる見込み。

セグメント別業績（通期）



		2024年度 通期実績 (A)	2025年度 通期予想 (B)	前年比 (B-A)	中期経営計画 公表値 (C)	(単位：百万円) 計画比 (B-C)
ライフライン	売上高	62,206	63,000	794	63,000	変更なし
	営業利益	4,029	4,300	271	4,500	▲200
	(率)	(6.5%)	(6.8%)	(0.3pts)	(7.1%)	(▲0.3pts)
機械システム	売上高	30,959	28,000	▲2,959	29,500	▲1,500
	営業利益	1,747	1,500	▲247	1,700	▲200
	(率)	(5.6%)	(5.4%)	(▲0.2pts)	(5.8%)	(▲0.4pts)
産業建設資材	売上高	33,504	34,000	496	32,500	1,500
	営業利益	2,585	2,200	▲385	2,000	200
	(率)	(7.7%)	(6.5%)	(▲1.2pts)	(6.2%)	(▲0.3pts)

ライフラインセグメント

物価高・人材不足等の問題は継続しているが、国土交通省が進める上下水道耐震化計画などの影響により増収増益を見込む

機械システムセグメント

原材料・エネルギー・輸送コストの高騰に加え、2024年度に受注を予定していた案件が客先都合により見送りや延期となった影響などにより減収減益を見込む

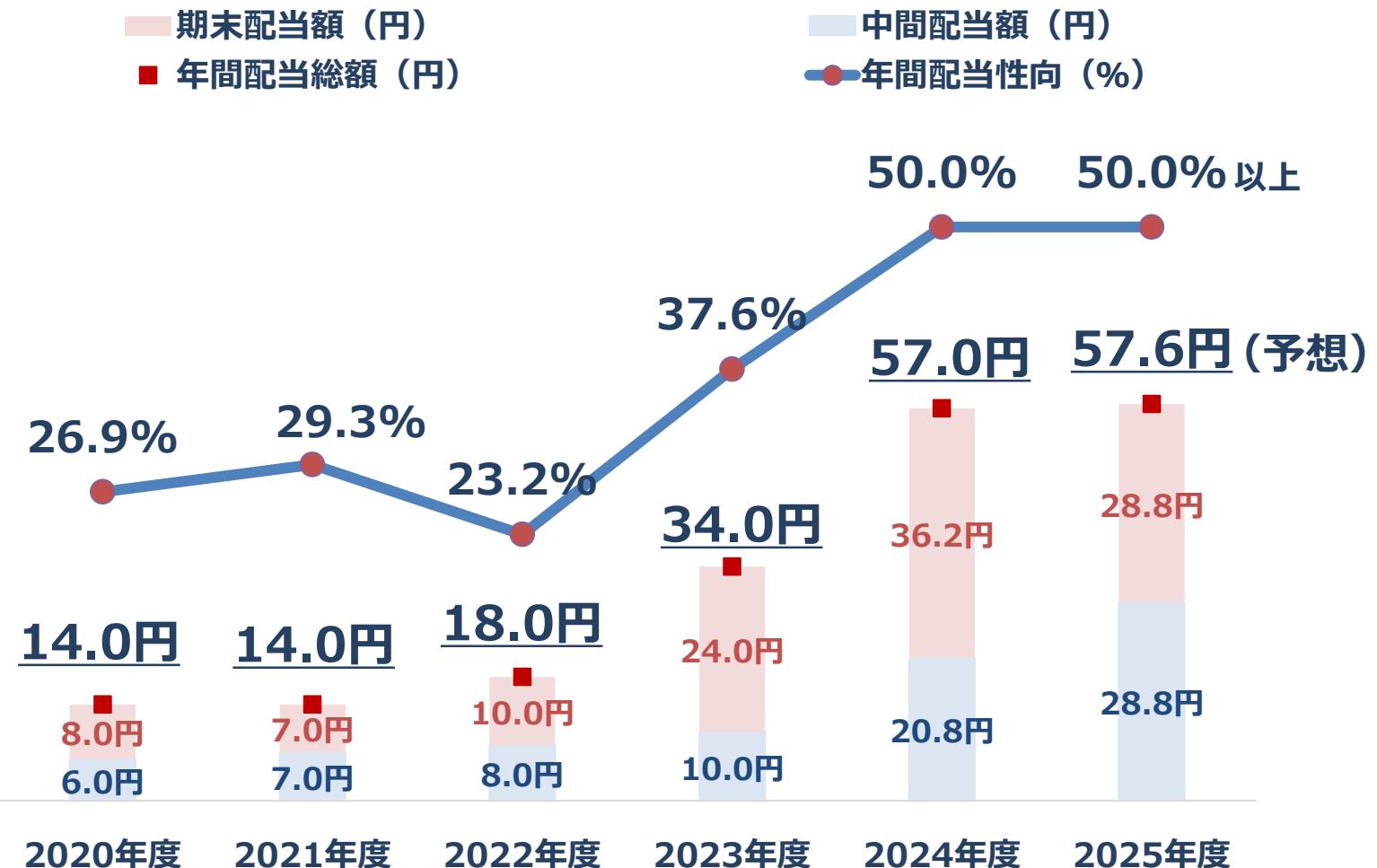
産業建設資材セグメント

インフラ更新需要の取り込みを予想するも、前期にグループ会社が得た追加工事による特別な利益計上案件などはないため今期は増収減益を見込む

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

◆ 2025年度の年間配当金は**57.6円**の予想

一株あたり配当額・配当性向推移(連結)



※2025年10月1日を効力発生日として1対5の株式分割を実施。便宜上、過年度の配当額も5分割後の金額に修正。

參考資料

会社概要 (2025年3月末時点)



所在地：

大阪府大阪市西区北堀江1丁目12番19号

創立：

1909年2月2日（明治42年）

設立：

1934年5月10日（昭和9年）

主要事業領域：

社会インフラ事業、産業設備事業

代表者：

代表取締役社長 菊本 一高

資本金：

311億円

従業員数：

連結 2,182名

単体 1,337名

グループ会社：

国内外21社で構成



菊本 一高

- ◆ 社会インフラと産業設備事業の構成、官需/民需のバランスが良く、好不況の波に強い事業基盤を持つ

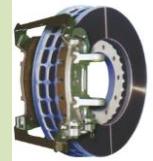
社会インフラ = 安定性

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設。

売上比率
約50%

産業設備 = 成長性

メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備。

ライフラインセグメント		機械システムセグメント		産業建設資材セグメント	
パイプシステム	バルブシステム	機械システム	素形材 E N G	建材	化成品
水道用ダクタイル鉄管	水道用・産業用バルブ	鍛造プレス、混練機	耐熱・耐摩耗鋳物 破碎機	空調用ダクト等の 建築資材	検査路等の FRP(M)製品
 	 	 	 	 	 

事業部門の構成と主な製品②

KURIMOTO

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント	社会インフラ 産業設備	パイプシステム バルブシステム	ダクトタイル鉄管類 水道用バルブ 産業バルブ	水道事業体 水道事業体、 製鉄・電力等各種プラント、 ポンプメーカー
機械システムセグメント	産業設備	機械システム	鍛造プレス 粉体処理機 プラントエンジニアリング	自動車関連メーカー カーボン、エンプラ、 二次電池関連メーカー 他 プラントエンジニアリング企業
産業建設資材セグメント	社会インフラ 産業設備	素形材エンジニアリング 建材	耐磨耗鉄物 破碎機 建築資材	鉄鋼、セメント、電力、環境、 碎石関連企業 管材商社、空調設備業者、 ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、 ゼネコン、フィルム関連メーカー

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。

～社会インフラ・産業インフラへの最適なシステムの提供～

ありたい姿

「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、「未来もよし」を加えた「四方よし」の精神で、将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す

拠点一覧 (2025年3月末時点)

KURIMOTO

国内本支店

本社（大阪）、東京、北海道、東北
名古屋、中国、九州

製造拠点

加賀屋、堺（パイプシステム）
住吉（バルブシステム、機械システム、素形材）
交野、古河（建材）
湖東、滋賀（化成品） 他

海外拠点

ヨーロッパ事務所（ドイツ）、
ジャカルタ事務所（インドネシア）

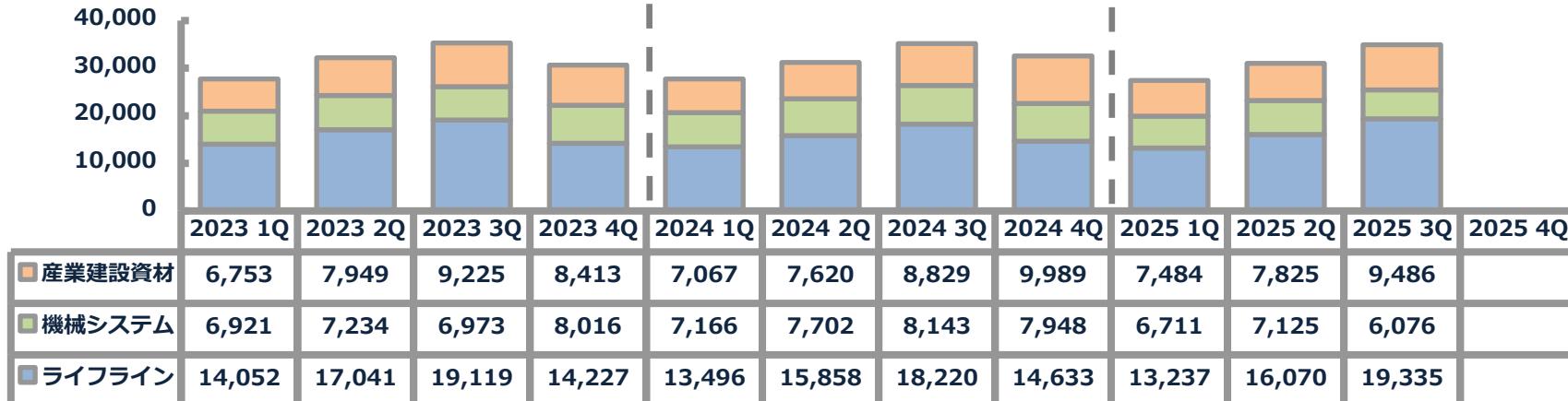


セグメント別 四半期業績推移

KURIMOTO

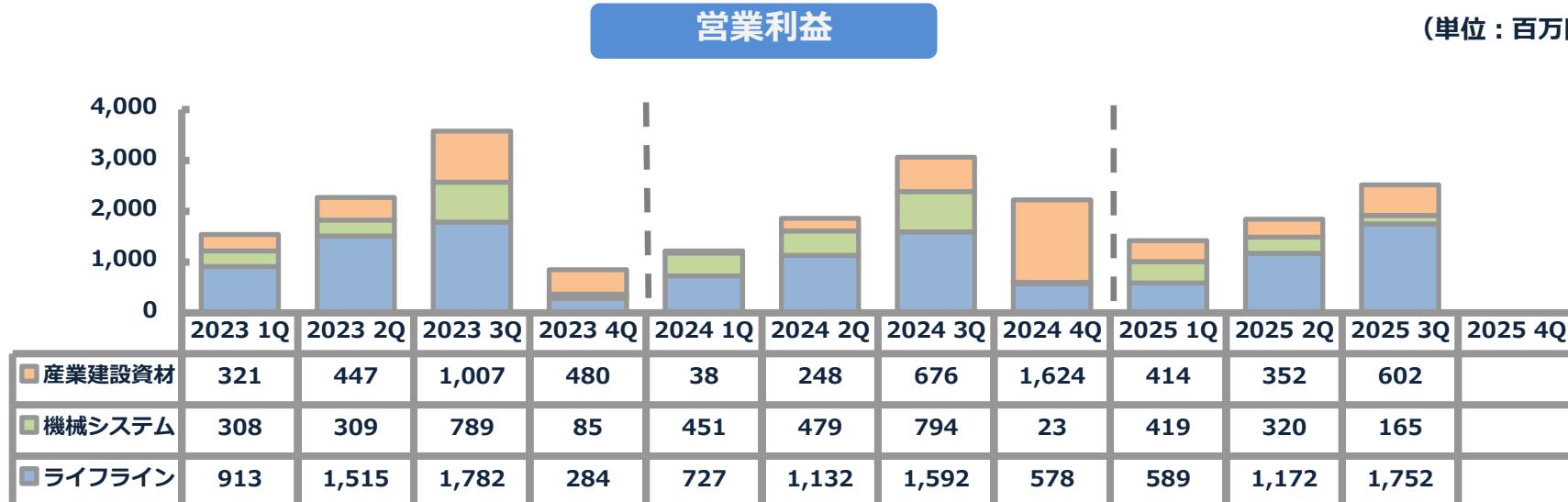
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



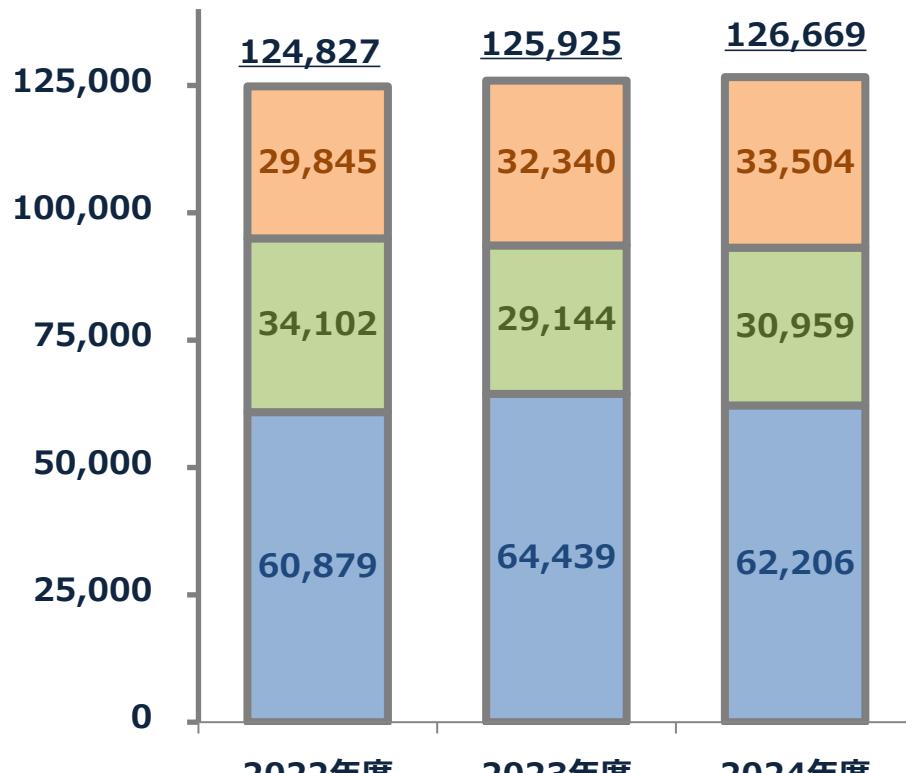
*営業利益合計額は調整額を含んでいますため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

セグメント別 年度業績推移

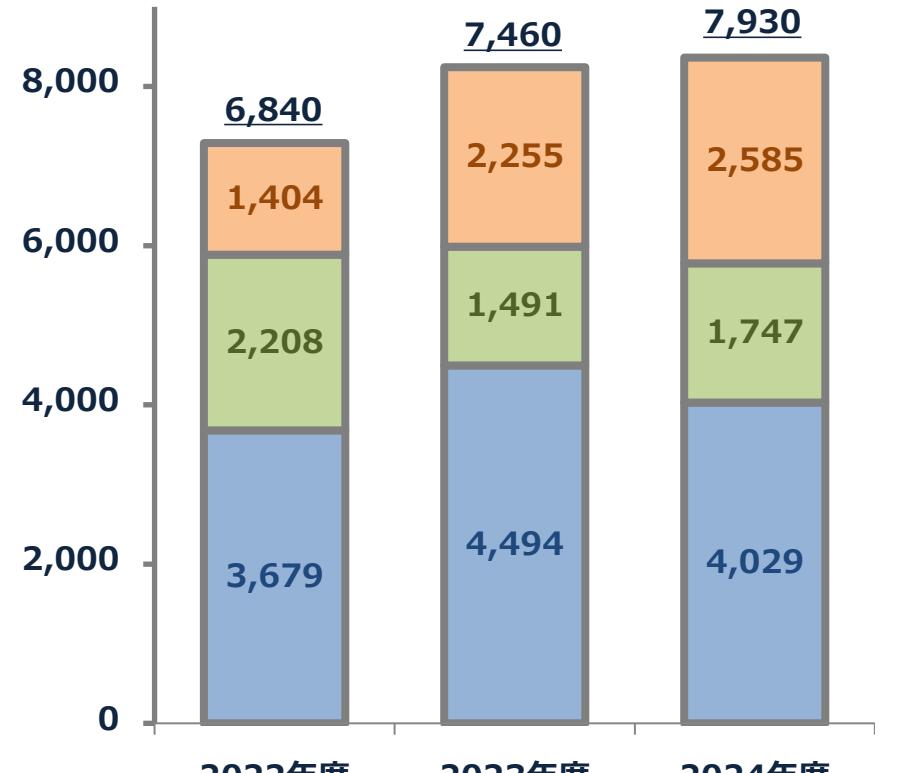
KURIMOTO

(単位：百万円)

売上高



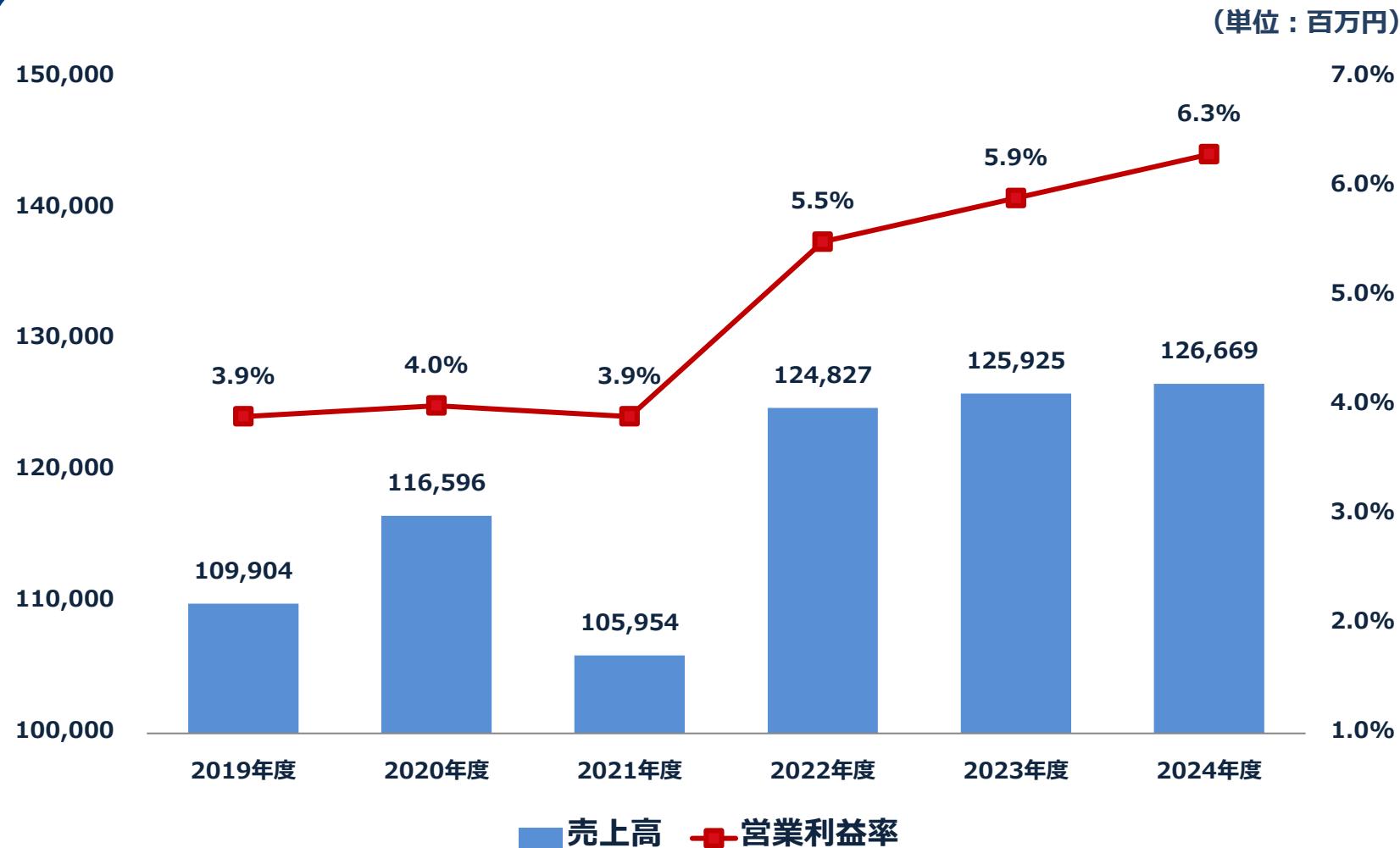
営業利益



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

売上・営業利益率推移

KURIMOTO



資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所
総合企画室 IR・SR部
TEL:06-6538-7719
E-mail : ir@kurimoto.co.jp
HPアドレス : <https://corp.kurimoto.co.jp>

KURIMOTO

KURIMOTO